

2020年 4月入学

人間科学部 科目等履修生

教員免許状取得に関する履修要領

早稲田大学 人間科学部

問い合わせ窓口
早稲田大学 所沢総合事務センター 教職担当
TEL:04-2947-6848 【9:00-17:00 (平日のみ)】
Email : kyousyoku-tokorozawa@list.waseda.jp

目次

| | | |
|-------|------------|----|
| はじめに | 科目等履修生制度概要 | 1 |
| STEP1 | 事前履修相談 | 2 |
| STEP2 | 関係資料 | 3 |
| STEP3 | 履修登録 | 3 |
| STEP4 | 授業開始 | 3 |
| STEP5 | 免許状取得要件 | 5 |
| STEP6 | 教育実習申し込み | 15 |
| STEP7 | 介護等体験申し込み | 17 |

●改正教育職員免許法および同法施行規則施行に伴う注意事項について

2019年4月1日より、改正教育職員免許法および同法施行規則が施行されております。これに伴い、以下注意事項をご確認いただき、ご出願ください。

※以下の記載において、改正後の教育職員免許法による認定課程を「新課程」とし、改正前の教育職員免許法による認定課程を「旧課程」とします。

1)2019年度以降の適用課程について

2019年度以降入学者については、原則、新課程の適用¹となります。また、当学部の履修指導は、原則として、新課程で行います。旧課程とは必要科目・単位数等が一部異なりますので、ご注意ください。

なお、旧課程における修得単位の一部については、教育職員免許法施行規則の改正附則に基づき、新課程において修得した単位としてみなすことができます。詳細は単位を取得した機関にお問い合わせください。ただし、以下いずれかの場合には旧課程適用となります。

①2018年度以前に専修免許状の課程を有する大学院に入学し、2019年度以降も引き続き当該大学院に在籍しており、大学院修士課程修了時に一種免許状の要件を含む「専修免許状」の申請・取得をする場合。

※取得する専修免許状と同一免許教科の一種免許状の要件についても「旧課程」の適用となります。
 ※専修免許状の課程を有する大学院に在籍していても、専修免許状の要件を満たせない場合や、申請を行わない場合等、一種免許状のみを申請する場合は、「新課程」の適用となります。

②旧課程において不足している単位が66条の6に関する科目もしくは介護等体験のみの場合。

2)旧課程適用者の注意事項について

本募集要項および時間割等については、新課程に基づいて記載しております。旧課程が適用される場合は、以下の対応表を参考にいただき、履修ルール・時間割等の確認を行ってください。なお、旧課程による「教員免許状の取得要件」については、所沢総合事務センターにご確認ください。

・新旧課程の表記対応表

| 旧課程 | 新課程 |
|---------------------|---|
| 教職に関する科目 | ・教育の基礎的理解に関する科目等 ・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） |
| 教科に関する科目 | 教科に関する専門的事項 |
| 教科又は教育の基礎的理解に関する科目等 | 大学が独自に設定する科目 |

¹ ご自身の適用課程が不明な場合は、出願先学部事務所までお問い合わせください。ただし、複数学籍を有する場合や、複数の単位修得機関を有する場合等、文部科学省または授与機関への照会をご案内する場合があります。

(1) 概要

教員免許状取得に必要な単位を修得できずに学部を卒業した方が、卒業後に改めて不足単位を修得し、教員免許状を取得するための制度です。

(2) 履修要件

次の①～③のいずれかの形態に該当する場合のみ、教員免許状取得の為に必要な科目の履修を許可します。本学部の科目等履修生として入学し、取得できる免許状は下表の通りです。

| 形 態 | | 取得可能な免許状 |
|-----|--|---|
| ① | 早稲田大学人間科学部 (人間環境・健康福祉・人間情報) 科学科 卒業者 | 中学校教諭 1 種免許状 (社会・英語) 高等学校教諭 1 種免許状 (地理歴史・公民・福祉・情報・英語) |
| ② | 早稲田大学人間科学部 ※ (人間基礎・人間健康・スポーツ) 科学科 卒業者 | 高等学校教諭 1 種免許状 (情報) |
| ③ | 早稲田大学人間科学部 通信教育課程 卒業者 (2009 年度以前入学者に限る) | |

※スポーツ科学部で中学校教諭 1 種免許状 (保健体育)、高等学校教諭 1 種免許状 (保健体育) の取得が可能です。詳細は「スポーツ科学部 科目等履修生 教員免許状取得に関する要領」をご確認ください。

STEP1

事前履修相談

出願にあたり、履修が必要な科目等についてご不安のある方を対象として、科目履修に関する相談を受け付けます。希望者は事前に申込の上、必ずこの期間にお越しくください。期間外の相談には一切応じません。

【相談期間・場所】

2020 年 1 月 27 日(月)~1 月 31 日(金)9:00~17:00 ※土日祝を除く

場所：早稲田大学所沢総合事務センター

【申込方法】

事前予約制となりますので、事前に以下の項目を記載の上、メールをお送りください。担当より折り返し日時をお知らせします。

宛先：kyousyoku-tokorozawa@list.waseda.jp (教職担当宛)

件名：「人間科学部 科目等履修生 事前履修相談希望」

記載項目：

- 1 氏名(カナ氏名)
- 2 電話番号
- 3 在学時の学籍番号(不明な場合は生年月日)
- 4 卒業大学、学部
- 5 取得予定の免許状種類
- 6 相談希望日時(第 3 希望まで)
- 7 相談内容(要旨)

【必要書類】

- ・学力に関する証明書 (見込証明書でも可)

<通信教育課程卒業者> e スクール事務局で発行依頼をし、相談日までにメール添付もしくは郵送にて、証明書を提出してください。提出がない場合、教員免許状取得のために不足している科目を確認することができないため、相談をお受けできない場合もあります。

<通信教育課程以外の卒業者> 所沢総合事務センターで発行して相談日にお渡しします。相談日に発行手数料のお支払いをお願いします。手数料は「取得予定の免許状種類」×300円です。

STEP2

関係資料

以下の資料も確認の上、履修希望者は出願締切日までに必要な手続きを行って下さい。

また、教育学部ホームページ HOME > 卒業生の方へ > 科目等履修生制度（教職課程・博物館学芸員）> 科目等履修生(中学・高校免許)の募集について もよく確認してください。

2月上旬公開予定の書類がありますので、最新情報にご注意ください。

1. 「教員免許状取得に関する履修要領」※本紙
2. 「時間割・履修希望科目用紙（人間科学部設置科目）」
3. 「時間割（教育学部設置・教育の基礎的理解に関する科目等）」
4. 「履修計画書 教職課程（中・高免許用）」※教育学部設置の教職科目履修希望者のみ提出
5. 「入学選考用紙」※教育学部設置の教職科目履修希望者のみ提出
6. 「小論文」※「教育実習演習」履修希望者のみ提出
7. 別紙—英語科教育法履修条件について

STEP3

履修登録

(1) 登録可能単位数

登録単位数は、年間30単位（うち、教育の基礎的理解に関する科目等²は20単位）を上限とします。

(2) 在籍年数の上限

教育学部設置の「教育の基礎的理解に関する科目等²※1」の履修のために科目等履修生となる場合は、在籍可能期間を通算で3年を限度とします。

(3) 聴講料納入

形態により聴講料および納入時期等が異なりますので注意してください。

| 形態 | 科目 | 聴講料 | 納入時期等 |
|----------------------|--|-----------------|---------------------------|
| 本学大学院 修士課程 在籍者 | 人間科学部設置科目 教育学部設置科目(教育の基礎的理解に関する科目等以外) ※3 グローバルエデュケーションセンター設置科目 | 免除 | 4/16(木)～4/22(水) ※4 |
| | 教育学部設置の「教育の基礎的理解に関する科目等」 | 1単位につき 1,000円※2 | |
| その他 | 人間科学部設置科目 | 1単位につき 49,700円 | 3/9(月)～3/12(木) 銀行振込 ※5 |
| | 教育学部設置科目 ※2 グローバルエデュケーションセンター設置科目 | 1単位につき 36,400円 | |

※1 「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」の総称として、「教育の基礎的理解に関する科目」等とします。

※2 科目等履修生継続の方も改めて納入が必要です。2014年度までと扱いが異なります。

※3 介護等体験費：「介護等体験実習講義」履修予定者は[STEP7 介護等体験申し込み]を確認してください。

※4 聴講料納入依頼メールを送信します 4月22日(水)までに指定の方法にて納入してください。納入がない場合、4月23日(木)に科目の取り消しを行います。

※5 3月9日(月)～12日(木)の間に銀行振り込みでお支払いください。詳細は別紙[2020年4月入学 早稲田大学人間科学部 科目等履修生 募集要項]を確認してください。

STEP4

授業開始

(1) 年間日程表

本学では授業回数を半期15回、通年30回としています。これにともない、一部の祝日に授業を実施し、

別の日を臨時の休業日（休講）としていただきますので注意してください。

【授業を実施する祝日・休日】 4/29(水)、10/21(水)、11/3(火)、11/23(月)

【臨時の休業日】 8/6(木)、8/7(金)、11/6(金)

【人間科学部暦】

学部により日程が異なります。教育学部暦は教育学部ホームページ HOME > 在学生の方へ > 学部日程を確認してください。

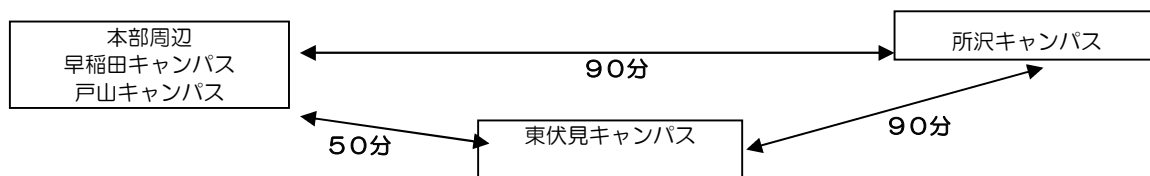
| | | |
|-------------|--------------|----------------------------|
| 春 学 期 | 春学期授業開始 | 4月6日(月) |
| | 春クォーター授業終了 | 6月3日(水) |
| | 夏クォーター授業開始 | 6月4日(木) |
| | 春学期授業終了 | 7月22日(水) |
| | 授業調整期間 | 7月25日(土)～7月31日(金) |
| | 夏クォーター授業終了 | 7月22日(水) |
| | 夏季休業期間 | 8月1日(土)～9月20日(日) |
| | 成績発表 | 8月28日(金) |
| 秋 学 期 | 秋学期授業開始 | 9月25日(金) |
| | 体育祭、早稲田祭(休講) | 11月7日(土)、11月8日(日) |
| | 秋クォーター授業終了 | 11月21日(土) |
| | 冬クォーター授業開始 | 11月22日(日) |
| | 冬季休業期間 | 12月23日(水)～2021年1月5日(火) |
| | 秋学期授業終了 | 1月25日(月) |
| | 定期試験期間【予備日】 | 1月19日(火)～1月30日(土)【2月1日(月)】 |
| | 冬クォーター授業終了 | 2月1日(月) |
| | 春季休業期間 | 2月2日(火)～3月31日(水) |
| | 成績発表 | 2月25日(木) |

【授業時間割】

| 第1時限 | 第2時限 | 第3時限 | 第4時限 | 第5時限 | 第6時限 | 第7時限 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 9:00～ 10:30 | 10:40～ 12:10 | 13:00～ 14:30 | 14:45～ 16:15 | 16:30～ 18:00 | 18:15～ 19:45 | 19:55～ 21:25 |

【キャンパス間移動】

キャンパス間の移動を伴う科目の登録を行う際は、授業間に必ず下記の時間を確保してください。移動に必要な時間を空けずに科目を登録しようとすると、遠距離エラーとなり、登録申請無効の科目が発生します。



(2) 教員免許状の申請

教育職員免許法第5条別表第1の所要資格を満たす見込みの方は、**翌年3月15日以降**に教員免許状の申請をすることができます。個人申請となるため、ご自身で居住地の都道府県教育委員会に申請をしてください。申請方法は各教育委員会によって異なりますので、直接お問い合わせください。

(3) 教員就職指導

教員就職を支援するための機関として、「教員就職指導室」が常設されています。教員就職指導室では専門スタッフ（教員就職アドバイザー）が、公立・私立学校教員としての就職を目指す皆さんの様々な相談に応じ、個別に指導を行っています。

| | |
|-------|--|
| 場所 | 早稲田キャンパス14号館202号室 |
| 利用対象者 | 在学生（科目等履修生含む）、卒業生 |
| 電話番号 | 03-3203-0921 |
| 開室時間 | 月～土曜日 10：00～12：30 13：30～17：00 ※春季・夏季・冬季休業期間中は土曜閉室 |

STEP5

免許状取得要件

本学部で教員免許状の取得を希望する者は、下表で示した要件を満たした上で、教育委員会に申請をしなければなりません。

| 法令区分／免許状の種類 | 中学校 一種 | 高等学校 一種 |
|---|-------------|-------------|
| 基礎資格 | 学士の学位を有すること | |
| 教科及び教職に関する科目 | 合計 59 単位 | 合計 59 単位 |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 ※ (1) | 小計 28 単位 | 小計 24 単位 |
| 教科に関する専門的事項 ※ (1) | | |
| 各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） ※ (1) | 8 | 4 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 ※ (2) | 10 | 10 |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ※ (2) | 10 | 8 |
| 教育実践に関する科目 ※ (2) | 7 | 5 |
| 大学が独自に設定する科目 ※ (3) | 4 | 12 |
| 教育職員免許法施行第 66 条の 6 に定める科目 | 合計 8 単位 | 合計 8 単位 |
| 日本国憲法 | 2 | 2 |
| 体育（実技） | 2 | 2 |
| 外国語コミュニケーション | 2 | 2 |
| 情報機器の操作 | 2 | 2 |
| 最低修得単位数の合計 | 67 | 67 |

※ (1) 「教科に関する専門的事項」、「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の最低修得単位数

「教科に関する専門的事項」については、法令上の最低修得単位数は定められていません。ただし、「教科及び教科の指導法に関する科目」としては、「教科に関する専門的事項」と「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」との合算で「小計」に記載の単位数を修得する必要があります。また、「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」については、中学校免許取得者は 8 単位以上、高等学校取得者は 4 単位以上修得することが定められています。

※ (2) 「教育の基礎的理解に関する科目」等

①「教育の基礎的理解に関する科目」、②「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および③「教育実践に関する科目」の総称として、「教育の基礎的理解に関する科目」等とします。

※ (3) 大学が独自に設定する科目

「教育の基礎的理解に関する科目」等、「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を超えて単位を修得した場合は、「大学が独自に設定する科目」の単位として計算されます。上表に記載の単位数は、「教育の基礎理論に関する科目」等、「教科及び教科の指導法に関する科目」および「大学が独自に設定する科目」の合計最低修得単位数で

ある 59 単位から、「教育の基礎的理解に関する科目」等と「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を差し引いた単位数であり、「大学が独自に設定する科目」の科目区分に設置されている科目を、記載されている単位数以上履修しなければならないという意味ではありません。

修得科目

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」については、「教科に関する専門的事項」および「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の合算で、中学校免許取得者は 28 単位以上、高等学校免許取得者は 24 単位以上を修得する必要があります。必修科目のみの履修では「教科及び教科の指導法に関する科目」の合計単位数要件を満たさない場合がありますので、ご注意ください。

(1-1) 教科に関する専門的事項

1) 社会

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 左記に該当する本学部設置科目（○印は必修科目） | | 単位 | 履修方法 | |
|-----------------|-------------------------|--------------|----|-------------------|--------------------|
| | 2013年度以降の科目名 | 2012年度までの科目名 | | | |
| 日本史及び外国史 | ○日本史A | ○日本史Ⅰ | 2 | 必修を含め 12単位以上履修 | |
| | ○日本史B | ○日本史Ⅱ | 2 | | |
| | ○中国史 | ○東洋史Ⅰ | 2 | | |
| | ○オリエント史 | ○東洋史Ⅱ | 2 | | |
| | ○地中海史 | ○西洋史Ⅰ | 2 | | |
| | ○ヨーロッパ中世史 | ○西洋史Ⅱ | 2 | | |
| | 歴史学 | 日本史Ⅲ | 2 | | |
| | 考古学 | 考古学 | 2 | | |
| | ドイツ近現代史 ※1 | ドイツ近現代史 | 2 | | |
| | 史学方法論 | 史学方法論 | 2 | | |
| | 歴史学 | 2 | | | |
| 地理学（地誌を含む。） | ○基礎地形学 | ○自然地理学Ⅰ | 2 | すべて履修 | |
| | ○基礎気候学 | ○自然地理学Ⅱ | 2 | | |
| | ○人文地理学A | ○人文地理学Ⅰ | 2 | | |
| | ○人文地理学B | ○人文地理学Ⅱ | 2 | | |
| | ○[基礎地理学]※2 | ○日本地誌 | 2 | | |
| | ○世界地誌学 | ○世界地誌 | 2 | | |
| 「法律学、政治学」 | 法学 | 法学 | 2 | 1科目 選択必修 | 選択必修を含め 2単位以上履修 |
| | 政治学 | 政治学 | 2 | | |
| | | [憲法] ※3 | 2 | | |
| 「社会学、経済学」 | ○経済学 | ○経済学 | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 | |
| | 都市社会学 | 都市社会学 | 2 | | |
| | 労働社会学 | 職業社会学 | 2 | | |
| | 人口社会学 | 社会変動論 | 2 | | |
| | アジア地域研究 | アジア文化論 | 2 | | |
| | [イスラーム社会論]※6 | イスラーム社会論 | 2 | | |
| | 文化人類学 | 文化人類学 | 2 | | |
| | 家族社会学 | 家族社会学 | 2 | | |
| | 社会開発論 | 社会開発論 | 2 | | |
| | 環境社会学 | 環境社会学 | 2 | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学」 | 宗教学 | 宗教学 | 2 | 1科目 選択必修 | 選択必修を含め 2単位以上履修 |
| | 倫理学 | 倫理学 | 2 | | |
| | 哲学 | 哲学Ⅰ | 2 | | |
| | [心理学概論] ※4 | 心理学 | 2 | | |
| | [芸術・技術の哲学] ※4 | 哲学Ⅱ | 2 | | |
| | [バイオエシックス] ※5 | | 2 | | |
| 本学部での必要単位合計 | | | 30 | | |

- ※1) 2005年度までに「ドイツ社会文化論」を修得済みの場合は「ドイツ近現代史」を履修することはできず、修得済みの「ドイツ社会文化論」についても教科に関する科目として使用できません。
- ※2) 2013年度、2014年度の科目名は「地理学基礎実習」です。
- ※3) 2011年度以前に修得した人間科学部設置の「憲法」のみ使用できます。
- ※4) [] 内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できます。
- ※5) [] 内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できません。2018年度以降より使用できます。
- ※6) [] 内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

2) 地理歴史

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 左記に該当する本学部設置科目（○印は必修） | | 単位 | 履修方法 |
|-----------------|-----------------------|--------------|-----------|------------------|
| | 2013年度以降の科目名 | 2012年度までの科目名 | | |
| 日本史 | ○日本史A | ○日本史Ⅰ | 2 | 必修を含め 4単位以上履修 |
| | ○日本史B | ○日本史Ⅱ | 2 | |
| | 歴史学 | 日本史Ⅲ | 2 | |
| | 考古学 | 考古学 | 2 | |
| | | 歴史学 | 2 | |
| 外国史 | ○中国史 | ○東洋史Ⅰ | 2 | 必修を含め 8単位以上履修 |
| | ○オリエント史 | ○東洋史Ⅱ | 2 | |
| | ○地中海史 | ○西洋史Ⅰ | 2 | |
| | ○ヨーロッパ中世史 | ○西洋史Ⅱ | 2 | |
| | ドイツ近現代史 ※1 | ドイツ近現代史 | 2 | |
| | 史学方法論 | 史学方法論 | 2 | |
| 人文地理学及び自然地理学 | ○基礎地理学 | ○自然地理学Ⅰ | 2 | すべて履修 |
| | ○基礎気候学 | ○自然地理学Ⅱ | 2 | |
| | ○人文地理学A | ○人文地理学Ⅰ | 2 | |
| | ○人文地理学B | ○人文地理学Ⅱ | 2 | |
| 地誌 | ○[基礎地理学]※2 | ○日本地誌 | 2 | すべて履修 |
| | ○世界地誌学 | ○世界地誌 | 2 | |
| 本学部での必要単位合計 | | | 24 | |

- ※1) 2005年度までに「ドイツ社会文化論」を修得済みの場合は「ドイツ近現代史」を履修することはできず、修得済みの「ドイツ社会文化論」についても教科に関する科目として使用できません。
- ※2) 2013年度、2014年度の科目名は「地理学基礎実習」です。

3) 公民

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 左記に該当する本学部設置科目（○印は必修） | | 単位 | 履修方法 |
|---------------------------------|-----------------------|--------------|----|-----------------------------------|
| | 2013年度以降の科目名 | 2012年度までの科目名 | | |
| 「法律学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」 | 法学 | 法学 | 2 | 1科目 選択必修 選択必修を含め 2単位以上履修 |
| | 政治学 | 政治学 | 2 | |
| | | [憲法] ※1 | 2 | |
| 「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」 | ○経済学 | ○経済学 | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | 都市社会学 | 都市社会学 | 2 | |
| | 労働社会学 | 職業社会学 | 2 | |
| | 人口社会学 | 社会変動論 | 2 | |
| | アジア地域研究 | アジア文化論 | 2 | |
| | [イスラーム社会論]※4 | イスラーム社会論 | 2 | |
| | 文化人類学 | 文化人類学 | 2 | |
| | 家族社会学 | 家族社会学 | 2 | |
| 社会開発論 | 社会開発論 | 2 | | |

| | | | | | |
|------------------|--------------|-------|-----------|-------------|--------------------|
| | 環境社会学 | 環境社会学 | 2 | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | 宗教学 | 宗教学 | 2 | 1科目 選択必修 | 選択必修を含め 2単位以上履修 |
| | 倫理学 | 倫理学 | 2 | | |
| | 哲学 | 哲学Ⅰ | 2 | | |
| | 心理学概論 | 心理学 | 2 | | |
| | [芸術・技術の哲学]※2 | 哲学Ⅱ | 2 | | |
| | 発達行動学 | 基礎心理学 | 2 | | |
| | 発達心理学 | 発達行動学 | 2 | | |
| | [バイオエシックス]※3 | 発達心理学 | 2 | | |
| 本学部での必要単位合計 | | | 20 | | |

※1) 2011年度以前に修得した人間科学部設置の「憲法」のみ使用できます。

※2) []内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

※3) []内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できません。2018年度以降より使用できます。

※4) []内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。

4) 福祉

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 左記に該当する本学部設置科目 (○印は必修) | | | 単位 | 履修方法 |
|--|------------------------|---------------|--------------------------------|------------------------|------------------|
| | 2013年度以降の科目名 | 2012年度以前の科目名 | 2010年度以前の科目名 | | |
| 社会福祉学 (職業指導を含む。) | ○現代社会と福祉 | ○社会福祉論Ⅰ | ○社会福祉論Ⅰ | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | 社会福祉概論 | 社会福祉論Ⅱ | 社会福祉論Ⅱ | 2 | |
| | 健康福祉産業論 | 健康福祉産業論 | 健康福祉産業論 | 2 | |
| | 社会保障論Ⅰ | 社会保障論Ⅰ | 社会保障論Ⅰ | 2 | |
| | 社会保障論Ⅱ | 社会保障論Ⅱ | 社会保障論Ⅱ | 2 | |
| | 地域福祉論Ⅰ | 地域福祉論Ⅰ | 地域福祉論Ⅰ※2 | 2 | |
| | 地域福祉論Ⅱ | 地域福祉論Ⅱ | 地域福祉論Ⅱ※2 | 2 | |
| 高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉 | ○老年学 | ○老人福祉論 | ○老人福祉論※2 | 2 | 必修を含め 6単位以上履修 |
| | ○子ども家庭福祉論 | ○児童福祉論 | ○児童福祉論※2 | 2 | |
| | ○障害者福祉論 | ○障害者福祉論 | ○障害者福祉論※2 | 2 | |
| | 子どもの健康福祉学 | 子どもの健康福祉論 | 子どもの健康福祉論※2 | 2 | |
| | | | 老人福祉論Ⅱ ※2 | 2 | |
| 社会福祉援助技術 | ○社会福祉援助技術総論Ⅰ | ○社会福祉援助技術総論Ⅰ | ○社会福祉援助技術総論Ⅰ | 2 | 必修を含め 4単位以上履修 |
| | ○社会福祉援助技術総論Ⅱ | ○社会福祉援助技術総論Ⅱ | ○社会福祉援助技術総論Ⅱ | 2 | |
| | ソーシャルワーク論Ⅰ | ソーシャルワーク論Ⅰ | ソーシャルワーク論Ⅰ※2 | 2 | |
| | ソーシャルワーク論Ⅱ | ソーシャルワーク論Ⅱ | ソーシャルワーク論Ⅱ※2 | 2 | |
| | 公的扶助論 | 公的扶助論 | 公的扶助論 | 2 | |
| 介護理論及び介護技術 | ○介護学概論 | ○介護概論 | ○介護概論 | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | 医療福祉工学 | 健康福祉産業工学 | 健康福祉産業工学 福祉医用工学 ※2 | 2 | |
| 社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。) | ○社会福祉演習Ⅰ (社会福祉士) | ○社会福祉援助技術演習Ⅰ | ○社会福祉援助技術演習Ⅰ | 2 | 必修を含め 6単位以上履修 |
| | ○社会福祉現場実習 ※1 | ○社会福祉援助技術現場実習 | ○社会福祉援助技術現場実習 | 4 | |
| | ○社会福祉演習Ⅱ (社会福祉士) | ○社会福祉援助技術演習Ⅱ | ○社会福祉援助技術演習Ⅱ | 2 | |
| 人体構造及び日常生活行動に関する理解 | ○健康福祉医学概論 | ○健康福祉医学概論 | | 2 | すべて履修 |
| 加齢及び障害に関する理解 | ○エイジング・障害福祉学概論 | ○エイジング・障害福祉概論 | | 2 | すべて履修 |
| 本学部での必要単位合計 | | | (2010年度以前入学者) (2011年度以降入学者) | 20 24 | |

- ※1) 別途実習料を徴収します。(参考: 2019年度 40,000円) 一度納入した実習料は返金しません。
 ※2) 下記の科目は科目名が変更されています。既に修得した単位は使用できます。

| 現在の科目名 | 旧科目名 |
|--------------|---------------|
| 地域福祉論 | 地域福祉論 I |
| | 地域福祉論 II |
| 老人福祉論 | 老人福祉論 I |
| 児童福祉論 | 児童福祉論 I |
| 障害者福祉論 | 障害者福祉論 I |
| 子どもの健康福祉論 | 児童福祉論 II |
| ソーシャルワーク論 I | 社会福祉援助技術各論 I |
| ソーシャルワーク論 II | 社会福祉援助技術各論 II |
| 廃止 | 福祉医用工学 |
| 廃止 | 老人福祉論 II |
| 廃止 | 障害者福祉論 II |

5) 情報

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 左記に該当する本学部設置科目 (○印は必修) | | 単位 | 履修方法 |
|-----------------------|-------------------------------------|--|-----|---|
| | 2013年度以降の科目名 | 2012年度以前の科目名 | | |
| 情報社会及び情報倫理 | ○情報社会及び情報倫理 | ○情報社会及び情報倫理 | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | 情報と人間 | 情報と人間 | 2 | |
| | | Introduction to Information Processing in English(英文情報処理) ※3 [MNC] | 2 | |
| コンピュータ及び情報処理(実習を含む。) | ○プログラミング I (Java 言語) ※2 | ○コンピュータシステム入門 | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | プログラミング I (Perl 言語) ※2 | 情報数学 | 2 | |
| | [プログラミング II (Java 言語)] ※2 ※5 | プログラミング I、II | 2 | |
| | プログラミング II (C 言語) ※2 | プログラミング初級 (Visual Basic) [MNC] | 2 | |
| | プログラミング II (モバイルプログラミング) ※2 | プログラミング初級 (C 言語) [MNC] | 2 | |
| | [プログラミング II (Python 言語)] ※2 ※5 | プログラミング初級、中級 (Java) [MNC] | 2 | |
| | コンピュータハードウェア | プログラミング初級、中級 (Ruby) [MNC] | 2 | |
| | アルゴリズムとデータ構造 | コンピュータによる統計入門、解析 [MNC] | 2 | |
| | | プログラミング中級 (C++) (Ruby) [MNC] | 2 | |
| | | コンピュータによる金融工学入門 I、II [MNC] | 2 | |
| | | ツールとしての統計処理 [MNC] | 2 | |
| | 早稲田大学情報環境の活用 (アカデミックリテラシー) ※2 [MNC] | 2 | | |
| | [プログラミング初歩、中級] ※4 [MNC] | 2 | | |
| 情報システム(実習を含む。) | ○情報科学研究法 | ○情報システム入門 | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | 情報システム入門 ※2 | データベース | 2 | |
| | ウェブ検索 | | 2 | |
| 情報通信ネットワーク(実習を含む。) | ○情報通信ネットワーク ※8 | △情報通信ネットワーク 01~03 | 2 | △を含め 2単位以上履修 または ▲を含め 4単位以上履修 |
| | ▲[ネットワーク技術初級] ※6 [GEC] | ▲ネットワーク技術 I [MNC] | 2 | |
| | ▲[ネットワーク技術準中級] ※6 [GEC] | ▲ネットワーク技術 II [MNC] | 2 | |
| | [ネットワーク技術準中級] ※7 [GEC] | ネットワーク技術中級 [MNC] | 2 | |
| | | [ネットワーク技術 III、IV] ※4 [MNC] | 各 2 | |
| マルチメディア表現及び技術(実習を含む。) | ○ウェブデザイン入門 | ○マルチメディア | 2 | 必修を含め 2単位以上履修 |
| | メディアコンテンツデザイン ※2 | ウェブデザイン | 2 | |
| | Media Production Studies | Media Production & Presentation ※2 | 2 | |
| | マルチメディア | マルチメディア入門 (デジタルサウンド) ※2 [MNC] | 2 | |
| | | CG エンジニア入門 [MNC] | 4 | |
| | [マルチメディア原論 A~E] ※3 [MNC] | 各 4 | | |
| 情報と職業 | ○情報社会におけるキャリアデザイン | 情報と職業 | 2 | 1科目 選択必修 |
| | | 情報化社会概論 [MNC] | 2 | |
| 本学部での必要単位合計 | | | 20 | |

※1) 科目名の後ろに [GEC] と記載されている科目はグローバルエデュケーションセンター設置、[MNC] と記載されている科目はメディアネットワークセンター設置、特に記載がないものはすべて人間科学部設置です。

※2) 下記の科目は科目名が変更されています。既に修得した単位は使用できます。

| 現在の科目名 | 旧科目名 | |
|-------------------------------|--|---------------------------------|
| 情報システム入門 | データベース | |
| プログラミング I (Java 言語) | プログラミング入門 (Java 言語) | |
| プログラミング I (Perl 言語) | プログラミング入門 (Perl 言語) | |
| プログラミング II (Java 言語) | プログラミング上級 (Java 言語) | |
| プログラミング II (C 言語) | プログラミング上級 (C 言語) | |
| プログラミング II (モバイルプログラミング) | プログラミング上級 (モバイルプログラミング) | |
| プログラミング II (Python 言語) | プログラミング上級 (Python 言語) | |
| メディアコンテンツデザイン | ウェブデザイン上級 | |
| 早稲田大学情報環境の活用 (アカデミックリテラシー) | アカデミックリテラシー (情報環境下での知の活用) (2009 年度) | 情報基礎演習 (2008 年度以前) |
| マルチメディア入門 (デジタルサウンド) | マルチメディア入門 (2011 年度以前) | |
| Media Production Studies | Media Production & Presentation (2012 年度以前) | Media Production (2006 年度以前) |

- ※3) [] 内の科目は2006年度以前に単位を修得した場合は使用できます。
 ※4) [] 内の科目は2010年度以前に単位を修得した場合は使用できます。
 ※5) [] 内の科目は2018年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。
 ※6) [] 内の科目は2019年度以前に単位を修得した場合のみ使用できます。
 ※7) [] 内の科目は廃止しました。既に単位を修得した場合は使用できます。
 ※7) [] 内の科目は廃止しました。既に単位を修得した場合は使用できます。
 ※8) 2020年度より必修の科目となりました。2019年度までにGEC (またはMNC) の科目のみで当該区分の要件を満たしている場合は、履修は不要です。

6) 英語 ※1

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 左記に該当する本学部設置科目 (○印は必修) | | 単位 | 履修方法 |
|------------------------------|---|--|----|-------------------|
| | 2013年度以降の科目名 | 2012年度以前の科目名 | | |
| 英語学 | ○英語学 | ○英語学 I | 2 | 必修を含め 4 単位以上履修 |
| | ○応用言語学入門 | 心理言語学 | 2 | |
| | Introduction to Sociolinguistics | Introduction to Sociolinguistics | 2 | |
| | [専門ゼミ I (Linguistics and Language Studies)] ※5 | 演習 I (Linguistics and Language Studies) | 4 | |
| | [専門ゼミ II (Linguistics and Language Studies)] ※5 | 演習 II (Linguistics and Language Studies) | 4 | |
| 英語文学 | ○米文学史 | ○米文学史 | 2 | 必修を含め 4 単位以上履修 |
| | ○英文学講読 | ○英文学講読 | 2 | |
| | 米文学講読 | 米文学講読 | 2 | |
| 英語コミュニケーション | ○Oral Presentation 上級・中級 ※2 | ○Speech Communication | 2 | 必修を含め 8 単位以上履修 |
| | ○Academic Reading 上級・中級 ※2 | ○Reading Comprehension | 2 | |
| | ○Academic Listening 上級・中級 ※2 | ○Listening Comprehension | 2 | |
| | ○Academic Writing 上級・中級 ※2 | ○Academic Writing | 2 | |
| | Current Topics I | Current Topics A | 1 | |
| | Current Topics II | Current Topics B | 1 | |
| | [The Developing Adult] ※4 | The Developing Adult | 2 | |
| | [専門ゼミ I (Educational Communication)] ※5 | 演習 I (Educational Communication) | 4 | |
| | [専門ゼミ II (Educational Communication)] ※5 | 演習 II (Educational Communication) | 4 | |
| | [専門ゼミ I (情報コミュニケーション技術)] ※5 | 演習 I (情報コミュニケーション技術) | 4 | |
| [専門ゼミ II (情報コミュニケーション技術)] ※5 | 演習 II (情報コミュニケーション技術) | 4 | | |
| 異文化理解 | ○英語圏文化概論 | ○英語圏文化概論 | 2 | 必修を含め 2 単位以上履修 |
| | Intercultural Communication | Intercultural Communication | 2 | |
| | 非言語行動論 | 非言語行動論 | 2 | |
| 当学部での必要単位合計 | | | 20 | |

- ※1) 本学部では英語の免許状は2007年度より取得可能となりました。
2006年度までに修得した単位は同名の科目であっても、英語の教科に関する科目として使用することはできません。
- ※2) 上級または中級のいずれかを履修してください。
- ※3) []内の科目は2009年度以前に単位を修得した場合は使用できます。
- ※4) []内の科目は2016年度以前に単位を修得した場合は使用できます。
- ※5) []内の科目は2017年度以前に単位を修得した場合は使用できます。

(1-2) 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)

| | 教育職員免許法に定める科目 | 早稲田大学設置科目名 | 単位 | 履修方法 |
|------------------|--------------------------|--|--------------|--|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) | ○○科教育法1 ○○科教育法2 ○○科教育法3 ○○科教育法4 | 中学 8 高校 4 | 取得を希望する各教科の教育法を履修。 ※中学校免許取得者は1~4、高校のみの免許状取得者は1~2必修。 |

免許状の教科によって必修の教科教育法が異なります。下記表を参照のこと。

| 取得免許状の教科 | 教育学部設置 | 取得免許状の教科 | 教育学部設置 |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 社会 | 社会科教育法1 | 福祉 | 福祉科教育法1 |
| | 社会科教育法2 | | 福祉科教育法2 |
| | 社会科教育法3※1 | 英語 | 英語科教育法1※2 |
| | 社会科教育法4※1 | | 英語科教育法2※2 |
| 地理歴史 | 地理歴史科教育法1 | 英語科教育法3※2 | |
| | 地理歴史科教育法2 | 英語科教育法4※2 | |
| 公民 | 公民科教育法1 | 情報 | 情報科教育法1 |
| | 公民科教育法2 | | 情報科教育法2 |

※1 「社会科教育法3」および「社会科教育法4」については、高校免許状(地理歴史・公民)取得のための科目としては使用できませんので、ご注意ください。

※2 英語科教育法を履修する場合、次の条件のいずれかを満たしている必要があります。科目等履修生制度の出願までに条件を満たしてください。原則、WeTECの点数で条件をクリアすることが望ましいです。

- ・WeTEC 600点以上(正規学生から引き続き科目等履修生になる場合は、在学中のWeTECのスコアが利用可能です)
- ・TOEIC 555点以上

初回授業の際に担当教員がスコアの提出を求めますので、WeTECについてはTutorial Siteからプリントアウトしたものを、TOEICについては証明書のコピーを提出してください。条件を満たしていない場合、科目が取り消されます。

「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目 | | 設置科目※1 | 単位 | 履修方法 |
|------------------------------------|---|-------------------|-------------|------|
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 教育基礎総論 1（中・高） | 2 | 必修 |
| | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） | 教職概論（中・高） | 2 | 必修 |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | 教育制度総論（中・高） ※2 | 2 | 必修 |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | 教育心理学（中・高） | 2 | 必修 |
| | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | 特別支援教育（中・高） ※3 | 1 | 必修 |
| | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） | 教育課程編成論（中・高） | 1 | 必修 |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論および指導法 | 道徳教育論（中・高） | 2 |
| 総合的な学習の時間の指導法 | | 総合的な学習・探究論（中・高）※3 | 1 | 必修 |
| 特別活動の指導法 | | 特別活動論（中・高） | 1 | 必修 |
| 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | | 教育方法・技術論（中・高） ※4 | 2 | 必修 |
| 生徒指導の理論及び方法 | | 生徒指導・進路指導論（中・高） | 2 | 必修 |
| 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | | | | |
| 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 | | 生徒理解と教育相談（中・高） | 2 | 必修 |
| 教育実践に関する科目 | 教育実習※5 | 教育実習演習（中・高）（3週間） | 5 | 中学必修 |
| | | 教育実習演習（中・高）（2週間） | 3 | 高校必修 |
| | | 教職実践演習 | 2 | 必修 |
| 最低修得単位数 | | | 中学 27・高校 23 | |

※1 旧課程で修得した科目については、教育職員免許法施行規則附則に基づき、新課程の科目へ一部読み替えることができます。詳細は出願先学部へお問い合わせください。教育の基礎的理解に関する科目等において、旧課程の同一科目を修得している場合、新課程への読み替えが可能のため、原則として再度の履修は不要です。

※2 旧「教育基礎総論 2（中・高）」を修得済みの場合、再度の履修は不要です。

※3 新設科目のため、新課程適用者は履修が必須となります。

※4 旧「教育方法研究（中・高）」を修得済みの場合、再度の履修は不要です。

※5 詳細は[STEP6 教育実習申し込み]を参照してください。

（3）「教育の基礎的理解に関する科目」等（選択）

以下の科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の選択科目です。修得した単位は「大学が独自に設定する科目」として取り扱われます。

| 教育職員免許法施行規則に定める科目 | | 設置科目 | 単位数 | 履修方法 |
|-------------------|-------------------------------------|---|--------|------|
| 第三欄 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 各 2 単位 | 選択 |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | | |
| 第四欄 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | 授業技術演習 | |

※の科目は隔年開講

(4) 大学が独自に設定する科目（中学校1種・高等学校1種）

以下の科目は、「大学が独自に設定する科目」です。また、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上されます。
中学校教諭の免許状取得のためには、「介護等体験実習講義」を必修とします。

| 該当する設置科目（科目設置個所） | 単位 |
|--------------------------|----|
| 介護体験実習講義（教育学部） ※中学校必修 | 2 |
| 教職研究VI（生涯教育）（教育学部） | 2 |
| 教職研究VIII（総合学習の研究）（教育学部） | 2 |
| 人間理解基盤講座（教育学部） | 2 |
| 学級経営インターンシップ（教育学部）※ | 4 |
| 特別支援教育インターンシップ（教育学部）※ | 4 |
| インクルーシブ教育インターンシップ（教育学部）※ | 4 |
| 初等教育インターンシップ（教育学部） | 4 |
| インストラクショナルデザイン | 2 |
| 遠隔学習支援論 [2012年度まで：遠隔教育論] | 2 |
| 学ぶことの科学 | 2 |
| 教えることの科学 | 2 |
| 教育のアセスメント理論 | 2 |

※ 「学級経営教育インターンシップ」「特別支援教育インターンシップ」「インクルーシブ教育インターンシップ」は、2つの条件（【説明会への出席】、【履修条件】）を満たす必要があります。いずれかの要件が満たされない場合、当該科目の登録は取り消されることがあります。

【説明会への出席】

以下の説明会に出席してください。

開催日時：2020年4月7日(火)昼休み(12:15～13:00)

開催場所：早稲田キャンパス 16号館 701教室（予定）

【履修条件】

以下の受講条件を全て満たしていることが望ましい。（教職課程認定上の同等科目でも可）

- 人間理解基盤講座の単位を修得済みまたは春学期に並行履修していること。（特別支援教育インターンシップは前年度までに修得済みであることが必須）
- 教職概論、教育基礎総論 1、教育制度総論、教育課程編成論、教育心理学、教科教育法 1・2 の単位を修得済みであること。
- 生徒指導・進路指導論および教育方法・技術論の単位を修得済みまたは並行履修していること。

下記の科目は廃止されました。既に修得した科目は使用できます。

| 該当する設置科目（科目設置箇所） | 単位 | 開講年度 |
|-----------------------------|----|----------|
| 教授学習の心理学 [2012年度まで：教授学習過程論] | 2 | 2019年度まで |
| 教職研究Ⅶ（特別支援教育）（教育学部） | 2 | 2018年度まで |
| [2013年度まで：教職研究Ⅶ（障害児教育）] | | |
| 教育メディア科学 | 2 | 2017年度まで |
| 教育測定論 | 2 | 2016年度まで |
| 教育評価論 | 2 | 2016年度まで |
| 中等国語科インターンシップ（教育学部） | 2 | 2013年度まで |
| 教育インターンシップ（教育学部） | 4 | 2013年度まで |
| 国語科授業技術演習（教育学部） | 2 | 2013年度まで |
| 異文化間教育論 | 2 | 2012年度まで |
| 教育測定評価論 | 2 | 2010年度まで |

（５）教科及び教職に関する科目の総単位数について

「教育職員免許状取得要件」に記載の通り、中学校・高等学校一種免許状を取得するためには、「教科及び教職に関する科目」の合計でそれぞれ「59単位以上」を取得する必要があります。教育の基礎的理解に関する科目等、教科及び教科の指導法に関する科目の必修単位だけでは59単位に満たない場合があるため、ご注意ください。

（６）免許法施行規則66条の6に関する科目

学部在学中に必要な単位を未修得の場合は、以下の科目を履修してください。

| 科目 | 必要単位数 | 左記に該当する本学設置科目 |
|------------------|-------|--|
| 日本国憲法 | 2 | 本学部設置科目「憲法」 |
| 体育（実技） | 2 | 本学部設置「体育実技A～D」、又は本学グローバルエデュケーションセンター設置「スポーツ実習Ⅰ、Ⅱ」の指定科目 |
| 外国語 コミュニケーション | 2 | 学部在学中に修得した外国語科目のうちの指定科目2単位で充当されます。科目等履修生としての履修は認めていません。 |
| 情報機器の操作 | 2 | 学部在学中に修得した「データリテラシーⅠ」または、「基礎演習」。科目等履修生としての履修は認めていません。本学グローバルエデュケーションセンター設置の指定科目（別表1参照） |

※科目によっては1単位科目もありますので、最低修得単位数である**2単位**の要件を満たすために、合計2単位以上を修得してください。

（別表1）来mw以下一覧は廃止または休講の科目を含みます。ご注意ください。

| | |
|-------------------------|----------------------------|
| プログラミング入門 | 情報表現の実践 |
| プログラミング初級(C/C++) | 情報セキュリティ技術 |
| プログラミング初級(Java) | プレゼンテーションスキル実践 |
| プログラミング初級(Visual Basic) | Webデザイン実践 |
| プログラミング初級(Ruby) | マルチメディア入門（デジタルサウンド） |
| プログラミング中級(C/C++) | マルチメディア初級（画像処理とアニメーション）α、β |
| プログラミング中級(Java) | マルチメディア中級（画像処理とアニメーション）α、β |
| プログラミング中級(Visual Basic) | サーバサイドWebプログラミング初級 |
| プログラミング中級(Ruby) | サーバサイドWebプログラミング中級 |
| アルゴリズムとデータ構造α、β | クライアントサイドWebプログラミング初級 |
| CGエンジニア入門 | クライアントサイドWebプログラミング中級 |
| ソフトウェア開発技術α、β | データベース（SQL入門） |
| データベース（管理と運用） | ミュージック・プログラミング |

教育実習を行うには、以下の条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

(1) 前提条件

【中学校・高等学校】以下①～②の条件を満たしていること。

①前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。

- ・「教科に関する専門的事項」のうち16単位以上
 - ・「教職概論」「教育課程編成論」「教育基礎総論1」「教育制度総論」「教育心理学」「教科教育法1」「教科教育法2」「教育方法・技術論」「特別支援教育」「生徒理解と教育相談」
- ※ただし、法改正後の経過措置として、2020年度については「教育実習演習（中・高）」と前提条件科目の「特別支援教育（中・高）」および「生徒理解と教育相談（中・高）」の並行履修を認めるものとする。
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち **2領域(各2単位)以上**
- ②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

【小学校(初等教育学専攻卒業の学部科目等履修生対象)】

前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。

- ・「教科に関する科目」を3科目以上
 - ・「教職原論」「初等教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営(小)」「教育課程編成原論」「教育心理学原論」「特別支援教育原論」
- ※ただし、法改正後の経過措置として、2019年度から2022年度まで、「特別支援教育」について「教育実習演習」との並行履修を認めるものとする。
- ・「教科教育法」を4科目以上
 - ・「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育方法原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち3科目以上。
 - ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち **2領域(各2単位)以上**

【小学校(教育学研究科(高度教職実践専攻1年制コースを除く)の学部科目等履修生対象)】

教育実習は原則として科目等履修生2年目に行くことになります。

- ①前年度までに、小学校1種免許取得に必要な単位のうち、12単位を修得済みであること（12単位には、中学・高校免許からの流用単位は含みません）。
- ②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

(2) 実習校の確保

原則は母校実習とし、各人が出身学校に内諾を得ている必要があります。下記の**事前登録期間の最終日(3月3日(火))までに内諾を得ていない場合、「教育実習演習」を登録することはできません。**

※実習前年度に、大学を通しての実習校・教育委員会との派遣手続きが必要な場合、前年度に当学に学籍があり、教育実習ガイダンスの参加および事前登録（7～8月）を行った学生のみに対応します。

(3) 出願

1) 事前登録

教育実習実施希望者は、2020年2月20日（木）～3月3日（火）23:59の間に、教育学部ホームページ（https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15）から、「全学の科目等履修生 教育実習申し込みはこちら」より教育実習内諾情報を入力してください。

なお、前年度(2019年度)に、MyWasedaで教育実習事前登録をしている場合、今回の事前登録は不要です。ただし、事前登録内容に変更が生じている場合にはメールにてお知らせください(教育学部教職支援係：kyousyoku-office@list.waseda.jp)。

2) 科目登録

出願時、「履修計画書」にて「教育実習演習」を申請してください。次表のとおり、教育実習の「期間」「時期」により登録する科目・クラスが異なります。なお、原則として、登録後の変更はできませんのでご注意ください。

【中学校・高等学校】

| 2週間の教育実習の場合 | | | |
|-------------|----------------------|---------|---------|
| 実習時期 | 登録する科目名・履修クラス | 取得可能免許状 | 実習先 |
| 4月～7月の場合 | 教育実習演習(2週間)の春学期開講クラス | 高校のみ | 中学または高校 |
| 8月～1月の場合 | 教育実習演習(2週間)の夏秋期開講クラス | | |

| 3週間の教育実習の場合 | | | |
|-------------|----------------------|-----------------------|---------|
| 実習時期 | 登録する科目名・履修クラス | 取得可能免許状 | 実習先 |
| 4月～7月の場合 | 教育実習演習(3週間)の春学期開講クラス | 中学のみ または 中学高校両方 | 中学または高校 |
| 8月～1月の場合 | 教育実習演習(3週間)の夏秋期開講クラス | | |

※開講クラスについて

春学期開講クラスは、シラバス指定の曜日時限に、事前指導5回と事後指導3回の計8回の講義が行われ、夏秋期開講クラスは、夏季休業期間中の指定期間に事前指導5回(集中授業)と秋学期のシラバス指定の曜日時限に事後指導3回の計8回の講義が行われます。

【小学校】

| 教育実習実施期間 | 科目名 | 取得可能免許状 |
|----------|-----------|---------|
| 3週間※ | 教育実習演習(小) | 小学校のみ |

※2011年度より、教育学研究科高度教職実践専攻2年制コース所属の学生に限り、中学高校免許の教育実習の単位流用を前提として、2週間の小学校教育実習を認めています。ただし、実習校の了承を得ていることが前提となります。これらの条件を満たす場合のみ、「教育実習演習(小)(2週間)」を申請してください。

3) 小論文の提出

「教育実習演習」履修希望者については、出願時に小論文の提出が必要です。教育学部ホームページ(https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15)から小論文の課題・所定用紙をダウンロードし、作成してください。

提出された小論文が一定の基準に満たない場合、当該科目の履修を認めないことがあります(「教育実習演習」のみ履修を希望している方は、科目等履修生の入学を取り消す場合もあります)。また、小論文について、3/9(月)～3/10(火)の間に面談を行う可能性があります。対象者の方には別途詳細を周知します。

(4) 実習申込み

実習先によっては、所定の手続きが必要です。

①「都内公立学校実習者」「早稲田大学附属・系属校実習者」

別途、提出書類が必要です。手続き内容詳細については、対象者の方に合格発表後にご連絡します。

②上記以外の「個人実習」等の方

合格後に教育実習関連書類を配布します。詳細は対象者の方に別途ご連絡します。実習校によっては別途手続きが必要な場合がありますので、必ず事前に実習校に確認してください。また、所属事務

所から配布される「教職課程履修の手引き（2020年版）」を熟読の上、教育実習の準備を行ってください。

以上

STEP7

介護等体験申し込み

介護等体験を行うには、以下の前提条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

(1) 前提条件

履修前年度までに次の科目「教職概論（中・高）」「特別支援教育（中・高）」の単位を修得済みであること。（いずれも同等科目可。）また、「教育心理学（中・高）」の単位を修得済みであることが望ましい。

ただし、法改正後の経過措置として、2020年度については「介護体験実習講義」と「特別支援教育（中・高）」の並行履修を認めるものとする。

(2) 出願

1) 事前登録

介護等体験希望者は、2020年2月20日（木）～3月3日（火）の間に、教育学部ホームページ（https://www.waseda.jp/fedu/edu/applicants/admission/#anc_15）から、「全学の科目等履修生 介護等体験申し込みはこちら」より「介護等体験」の申請フォームへ入力してください。

※小学校1種免許、中学校免許共通。

【体験日数について】

7日間（社会福祉施設での体験5日間、および特別支援学校での体験2日間。土日のみの体験希望不可。）

※社会人の方が仕事を理由に、決定した体験日程の変更などを申し出ることは出来ません。

※過去に一部介護等体験を終了しており、手元に「介護等体験証明書」（2日もしくは5日分）がある場合は、不足日数分を申請してください。

【体験期間・体験先について】

体験期間：原則、2020年5月下旬～2020年11月

体験先：東京都内の社会福祉施設での体験5日間および特別支援学校での体験2日間

※社会福祉施設とは児童養護施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホームなどです。

※体験期間が2日間のみの場合は特別支援学校での体験となります。

※社会福祉施設の体験先は現住所を参考に、東京都社会福祉協議会が決定します。特別支援学校の体験先は事前の希望申請を参考に調整しますが、受け入れ先の状況等によりご希望に添えない場合があります。

2) 科目登録

出願時に、「履修計画書」にて「介護体験実習講義」を申請してください。また、「特別支援教育（中・高）」（教職課程認定上の同等科目可。）を未修得の場合は、合わせて申請してください。

(3) 体験費の納入

【納入期間】

2020年4月16日（木）～4月22日（水）

【納入方法】

入学後、聴講料納入案内がWasedaメールにて送信されます。メールを確認後、「コンビニエンスストア決済」「ペイジー決済」「クレジットカード決済」のいずれかで納入してください。

※ご入学後、迅速に『MyWaseda利用者控』をご確認いただき、Wasedaメールが確認できる状態にしておいてください。なお、一度納入された介護等体験費は、原則として、いかなる理由があっても返還で

きません。

【体験費詳細】

| | | | |
|------|---------|-----|------|
| 体験日数 | 7日間 | 5日間 | 2日間 |
| 体験費 | 10,950円 | | 500円 |

(4) 麻疹（はしか）に関する証明書の提出について

介護等体験に行くためには、原則として麻疹の抗体値が十分にある事の証明が必要になります。以下の手続きに従い、麻疹(はしか)に関する証明書類提出の手続きを行ってください。

【抗体検査の実施】

麻疹の抗体検査は一般的に内科にて検査できますので、近隣の内科へ連絡し、受診してください。

【検査結果の提出】

日程：2020年3月16日（月）～3月27日（金）

場所：教育学部レポートボックスNo.50（16号館2階エレベータ前 サービスルーム内）

（開室時間：月～土 9:00～21:00）

所沢総合事務センター レポートボックスNo.29（100号館4階）

（提出は随時可能。最終日は16:00に締切）

提出体裁：教育・総合科学学術院事務所・所沢総合事務センターにて配布する用紙に添付して提出

※検査の状況により、上記提出締切に間に合わない場合は、検査結果が出次第、教育・総合科学学術院事務所（16号館2階）まで検査結果書を提出してください。

※体質等が原因で、抗体検査、予防接種(ワクチン接種)を受けることができない方は、その旨記載された医療機関発行の診断書を提出してください。

※抗体が体内にないと結果が出た場合は、「kaigo15@list.waseda.jp」までご相談ください。

※提出書類は、原本でもコピーでもどちらでも問題ありません。

(5) 介護等体験のスケジュール（予定）

| 時期 | 手続き・内容 | 場所・提出先 |
|-------------------|--|-------------------------|
| 4/3 | <input type="checkbox"/> 介護等体験事前ガイダンス | 14号館 201 教室 |
| 4月初旬 | <input type="checkbox"/> 学生定期健康診断の受診 | 保健センター |
| 4/3～4/13 | <input type="checkbox"/> 体験不可能期間希望申請アンケート (体験が出来ない週を申請する手続き) | Course N@vi |
| 4/6～5/2 | <input type="checkbox"/> 介護等体験実習講義（事前指導：4回） | 各クラスの教室 |
| 6月下旬 | <input type="checkbox"/> 体験先・体験期間決定の案内 「介護等体験施設決定通知書（体験日程詳細）」および 「受け入れ連絡票（社会福祉施設の体験詳細）」の配付 | <配付場所> 所属学部事務所 |
| 体験先決定後 ～7月上旬まで | <input type="checkbox"/> 「介護等体験希望学生個人票」の提出 | 教育・総合科学学術院事務所 |
| | <input type="checkbox"/> 「健康診断書」の提出（対象学生のみ） | 教育・総合科学学術院事務所 |
| 7月上旬 ～順次 | <input type="checkbox"/> 「細菌検査結果書」の提出（対象学生のみ） | 体験先施設 |
| 随時 | <input type="checkbox"/> 体験先施設での事前オリエンテーション (対象学生のみ) | 体験先施設 |
| | <input type="checkbox"/> 体験先施設への事前連絡（対象学生のみ） | |
| | <input type="checkbox"/> 介護等体験の実施 | |
| | <input type="checkbox"/> 講義欠席特別扱願の提出 | 介護等体験により欠席した 授業の担当教員 |

| | | |
|-----------|---|----------------------|
| 秋学期以降 | <input type="checkbox"/> 「介護等体験証明書（コピー）」の提出 <input type="checkbox"/> 「社会福祉施設における介護等体験 自己評価票」提出 | 教育学部サービスルーム内レポートボックス |
| 12/5～1/18 | <input type="checkbox"/> 介護体験実習講義（事後指導：4回） | 各クラスの教室 |
| 3月 | <input type="checkbox"/> 「介護体験実習講義」成績発表 | |

※大学から、MyWasedaの「個人情報照会・変更」に登録されている連絡先へご連絡することがあります。
連絡先に変更のあった場合には、必ず最新の情報への更新手続きを行ってください。
※上記は2月現在の概要です。連絡事項は掲示板とMyWasedaを通してお知らせします。随時ご確認ください。

以 上